

銀行取引(資金調達)から資金管理までの実務的手法を徹底理解する!

# 中小企業のための銀行取引と財務管理のポイント

開催日: 2017年9月8日(金) 10:00~16:45

会場: りそな総合研究所 東京本社セミナールーム

講師: 齋藤戦略会計事務所 代表 税理士 **齋藤 安正** 氏

略歴:

早稲田大学法学部卒業後、都市銀行にて約16年間、中小企業の融資業務・事業承継対策支援業務・人材育成業務に従事。銀行業務に従事しながら税理士資格を取得。銀行退職後、都内税理士法人にて一般顧問税務・事業承継コンサルティング業務・中小企業の財務コンサルティング業務に従事。独立後、齋藤戦略会計事務所を設立。主に中小企業の財務戦略・キャッシュフロー管理・事業承継対策を専門とし、コンサルティング業務の傍ら、法人会・金融機関・企業等での講演・研修で活躍中。

## 特色

中小企業の財務戦略の重要ポイントは、資金繰りの管理につきま。自社の資金繰りを正確に見極め、事業資金を円滑に回していくためには、資金調達や銀行との交渉手法、現状の税制等についてよく知る必要があります。

本セミナーでは、銀行の融資審査の考え方やそれを踏まえた決算書の作成手法、適正な納税の考え方等を通じて、具体的な資金管理手法を学びます。自社の収入と支出、営業キャッシュフロー、適正借入額等が明確になり、その対策が立てやすくなります。中小企業の財務や資金繰り、銀行取引に関する分かり易い実践的な講義ですので、日頃の財務管理のポイントを学びたい方は是非ご受講ください。

録音・録画はご遠慮下さい。

## カリキュラム

### 1. 中小企業にとっての適正な財務管理とは

- (1) 中小企業を取り巻く財務・資金管理の問題点
- (2) 中小企業にとって目指すべき財務状況とは(6つのポイント)
- (3) 財務戦略における収益の増強とはどういうことを言うのか
- (4) 適正な現預金額の確保と銀行取引の重要性
- (5) 税制改正の方向性と適正な納税の考え方

### 2. 銀行の融資審査の考え方・分析手法

- (1) 融資審査の手順
- (2) 融資審査部の決算書の見方・分析方法(実態バランスシートと借入金返済年数)
- (3) 融資審査のポイントと融資条件の決定手法(金額・金利・担保・返済条件等)
- (4) 融資審査を通すための4つのポイント
- (5) 銀行取引を優位に進めるための交渉術とマメ知識

### 3. 決算書や財務資料作成のポイント

- (1) 融資審査を通しやすくする決算書作成のポイント
- (2) 貸借対照表の作成ポイント(実態資産超過の考え方)
- (3) 損益計算書の作成ポイント(キャッシュフローの計算と借入金返済能力)
- (4) その他銀行に提出する資料の作成と説明のポイント

### 4. 資金繰りの管理手法と銀行取引対策

- (1) 中小企業におけるキャッシュフロー経営とは
- (2) 資金管理のためのツール(資金繰り表のモデルあれこれ)ポイントと適正借入金額の算定
- (3) 資金繰り表の作成手法(何の資料のどの部分の数値をひろって作成するか)
- (4) 作成した資金繰り表の分析手法(資金繰り表の何をどう見るか)
- (5) 営業キャッシュフローと最終現預金額
- (6) キャッシュフロー改善のための具体的手法
- (7) 具体的事例に基づいた資金管理の手法

## 参加申込書

(\*個人情報の取扱いに関して「私は貴社の個人情報に関する利用目的を確認、同意の上、申込みをします」)

受講料: 会員...23,760円 一般...31,320円

(参加者1名様、消費税等・テキスト代を含む)

9/8(金) 中小企業のための銀行取引と財務管理のポイント 【FAX 03-3699-6629・6729 りそな総合研究所 行】

貴社名				区分	MS・会員・一般	会員番号		
所在地	〒			連絡 担当者	部署・役職			
					ふりがな			
					氏名			
業種(具体的に記入してください)					E-Mail			
TEL	( )		FAX	( )		取引店	支店	
参加者 ( )内に ふりがなを ご記入くだ さい。	氏名	( )		部署	役職			
	氏名	( )		部署	役職			
	氏名	( )		部署	役職			
当社使用欄	替 / 振(会・個)	入力日 /	発送日 /	受講料	円	作成日 /	発送日 /	同・別

会員の方: 入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のどちらかのお支払い方法になります。[お問い合わせ先] 一般の方: 受講票とともにご請求書をお送りいたします(原則)。セミナー開催前日までにお振込みください。03-5653-3951  
\*キャンセルはセミナー開催前営業日の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセルは、受講料全額をいただきます。なお、参加申込みが少数の場合や講師の病気等により、開催を中止させていただく場合があります。 研修担当(印)